



Only One Earth



Takeei Environmental and Social Report



タケエイグループ
環境・社会報告書
2015

資源循環型社会への 貢献を目指す

自然との調和、地域住民との共生を基調として、
環境負荷の低減を前提とした資源の循環的活用の社会システム形成に貢献するために、
多様なニーズに対応したリサイクル技術の確立と施設の充実を推進する。

■会社概要 (2015年7月末現在)

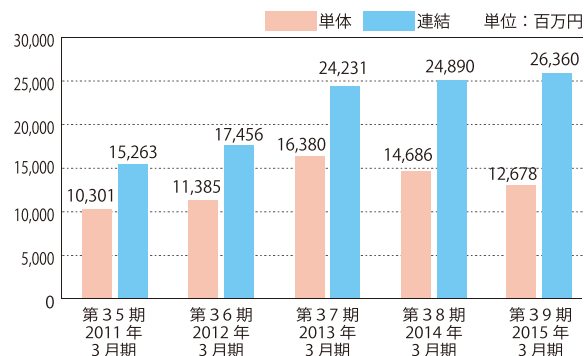
会社名	株式会社 タケエイ
代表者	代表取締役社長 山口 仁司
設立年月日	1977年3月7日
資本金	6,504百万円
所在地	東京都港区芝公園2丁目4番1号 A-10階 TEL. 03-6361-6830(代) FAX. 03-6361-6835
従業員数	単体 617名 連結 1,128名
上場取引所	東京証券取引所市場第1部

免責事項

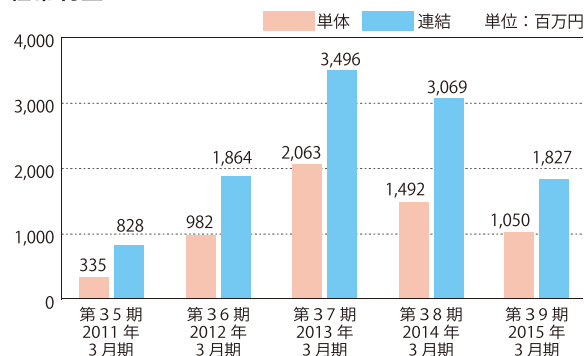
本報告書に含まれる将来に関する記述については、記述した時点で入手できた情報や計画に基づいているため、諸与件の変化によって異なる結果になることがあります。読者の皆さまには、この点をあらかじめご理解いただきますようお願い申し上げます。

■事業推移

売上高



経常利益



■タケエイグループの事業拠点 (2015年7月末現在)

(株)タケエイ

- 1 本社: 東京都港区
- 2 東北支店: 宮城県仙台市

3 東京リサイクルセンター
混合廃棄物のリサイクル工場
[東京都大田区]

4 川崎リサイクルセンター
混合廃棄物のリサイクル工場
[神奈川県川崎市]

5 塩浜リサイクルセンター
積替保管施設
[神奈川県川崎市]

6 四街道リサイクルセンター
混合廃棄物のリサイクル工場
[千葉県四街道市]

7 成田最終処分場
安定型最終処分場
[千葉県成田市]

8 大木戸最終処分場
安定型最終処分場
[千葉県千葉市]

9 環境保全(株)
環境分析等
本社: 青森県平川市
支店: 宮城県仙台市、東京都港区

10 (株)津軽バイオマスエナジー
バイオマス発電事業
[青森県平川市]

11 (株)津軽あぶるパワー
小売電気事業
[青森県平川市]

(株)タケエイエナジー&パーク

- 18 太陽光発電事業
[千葉県成田市]
- 19 パークゴルフ場運営
[千葉県千葉市]

20 (株)アースアレイザル

環境調査、資産除去債務、
エンジニアリングレポート、
不動産鑑定業
[東京都千代田区]

21 (株)T・Vエナジーホールディングス

再生可能エネルギー事業への
投融資・運営
[東京都港区]

22 (株)池田商店

廃コンクリート・鉱さい等の
リサイクル工場
[神奈川県横浜市]

23 (株)グリーンアローズ関東

廃石膏ボードのリサイクル工場
[神奈川県横須賀市]

24 (株)門前クリーンパーク

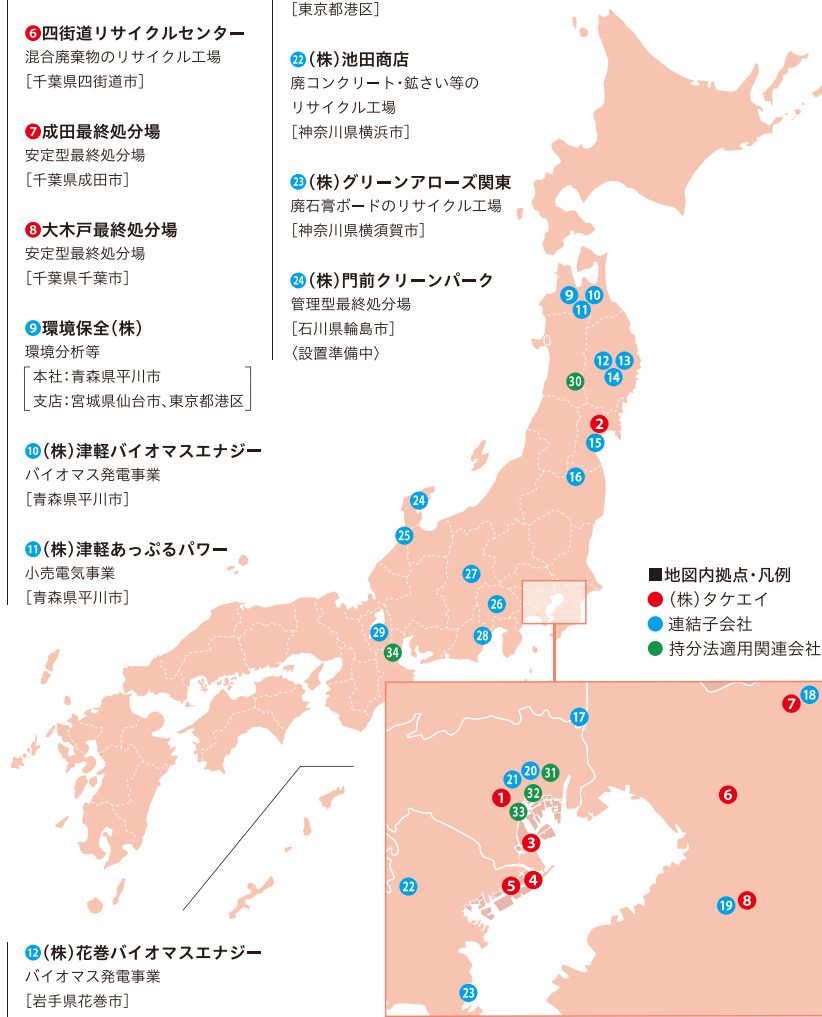
管理型最終処分場
[石川県輪島市]
(設置準備中)

28 (株)タケエイメタル

鉄・非鉄スクラップ等のリサイクル工場
[静岡県静岡市]

29 富士車輛(株)

環境装置・環境プラント・
特殊車両の開発・製造・販売
本社工場: 滋賀県守山市
支店: 東京都千代田区、大阪府大阪市



12 (株)花巻バイオマスエナジー

バイオマス発電事業
[岩手県花巻市]
(設置準備中)

13 花巻バイオチップ(株)

バイオマス燃料製造事業
[岩手県花巻市]
(設置準備中)

14 (株)花巻銀河パワー

小売電気事業
[岩手県花巻市]
(設置準備中)

15 (株)グリーンアローズ東北

廃石膏ボードのリサイクル工場
[宮城県岩沼市]

16 東北交易(株)

汚泥・燃えがら・ばいじん・
鉱さい等のリサイクル工場
[福島県福島市]

17 (株)ギプロ

廃石膏ボードのリサイクル工場
[埼玉県八潮市]

25 (株)北陸環境サービス

管理型最終処分場
[石川県金沢市]
廃プラスチックのリサイクル工場
[石川県金沢市]

26 (株)タケエイグリーンリサイクル

木くず(剪定枝等)のリサイクル工場
[山梨県富士吉田市、南都留郡]

27 (株)信州タケエイ

混合廃棄物のリサイクル工場
[長野県諏訪市]
廃コンクリート等のリサイクル工場
[長野県安曇野市]
解体工事
[長野県松本市]
安定型最終処分場
[長野県塩尻市]

30 クマケン工業(株)

有害汚染土壌処理剤・
汚濁水処理剤の開発・製造・販売等
[秋田県横手市]

31 (株)トッププランニングJAPAN

アスベスト除去工事、解体工事等
[東京都中央区]

32 (株)グリーンアローズホールディングス

廃石膏ボードリサイクル事業への投資
[東京都港区]

33 (株)V・Tエナジーマネジメント

バイオマス発電所の運転・維持管理
[東京都港区]

34 (株)東海テクノ

環境分析等
[三重県四日市市]

CONTENTS

1	経営理念
1	会社概要
2	タケエイグループの事業拠点
2	編集方針
3	トップメッセージ
5	タケエイグループの事業1
7	タケエイグループの事業2
9	特集 総合環境企業としての 持続可能なエネルギー事業モデル
12	事業ハイライト
13	環境とのかかわり1 環境保全への取り組み
13	環境負荷低減に向けた活動
14	「エコ・ファーストの約束」に関する取り組み
15	マテリアルバランスと再資源化
17	環境とのかかわり2 環境マネジメント
17	タケエイグループ環境基本方針
18	タケエイグループ環境推進体制
18	マネジメントシステムの運用状況
18	法令遵守
19	社員とのかかわり 働きがいのある職場づくり
19	社内教育
20	安全への取り組み
21	社会とのかかわり 地域・社会との共生
21	地域との共生に向けた活動
24	経営体制
24	コーポレート・ガバナンス
25	環境データ集
25	「エコ・ファーストの約束」に対する実績報告
26	2014年度 環境目標と達成状況

■編集方針

本報告書は、タケエイグループの事業全体を説明するとともに、環境および社会的側面における活動実績を報告しています。

●報告対象期間

2014年度
(2014年4月1日から2015年3月31日まで)
※一部上記期間以外の内容も含んでいます。

●報告対象組織

原則としてタケエイグループ((株)タケエイおよびグループ会社(連結子会社20社))を対象としています。タケエイグループを対象としていない報告は、個々に対象範囲を記載しています。

●参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」

●発行日

2015年8月(次回予定2016年9月)

●本報告書に関するお問合せ先

株式会社 タケエイ CSR推進部 ISO推進グループ
〒105-0011
東京都港区芝公園2丁目4番1号 A-10階
TEL: 03-6361-6836 FAX: 03-6361-6839

廃棄物処理事業と再生可能エネルギー事業に 新たな価値を創出していく「総合環境企業」として、 社会の持続的発展に貢献します

私たちタケエイは、1967年の創業時より、首都圏を中心に建設廃棄物処理・リサイクル事業を推進してきました。東京を中心として今日まで栄えてきたこのエリアでは、現在、国土強靱化、老朽化インフラ再整備、防災・減災、都市の再構築等の課題に取り組みながら、2020年の東京オリンピック開催に向けて再開発が本格化していくものと予想されます。

こうした環境下、タケエイグループは、本年新たな成長戦略となる中期経営計画「VISION

for 2020」を策定しました。この中期経営計画は、「資源循環型社会の実現に貢献する」という当社の経営理念をより具現化するため、東京オリンピックを契機に大きな変貌を遂げる10年先を見据えた、今後5か年の経営計画となります。

具体的には、東京オリンピックに向けた建設廃棄物処理・リサイクル事業の対応力強化とともに、10年先のビジョンを見据え、建設分野以外の廃棄物処理の取り組みや、再生可能エネルギー事業、環境エンジニアリング事業、環境コン



サルティング事業への展開など、非建設廃棄物処理分野についても、積極的に計画・投資を進めていきます。

現在の主力事業である建設廃棄物処理・リサイクル事業については、2015年6月に(株)タケエイと(株)リサイクル・ピアを合併し、東京・神奈川・千葉の3工場を有機的かつ一体的に運用するなど、活発化が予想される都市の再構築に向けて、廃棄物の厳格な処理とリサイクルを一層推進し、国家的事業に最大限貢献していきます。

また、メーカー工場の製造工程で発生する廃棄物や一般廃棄物(いわゆる家庭ごみ)など、その他の廃棄物についての取り扱い拡大のための施設整備やリサイクル品については、品質向上・販売量の拡大に努めます。

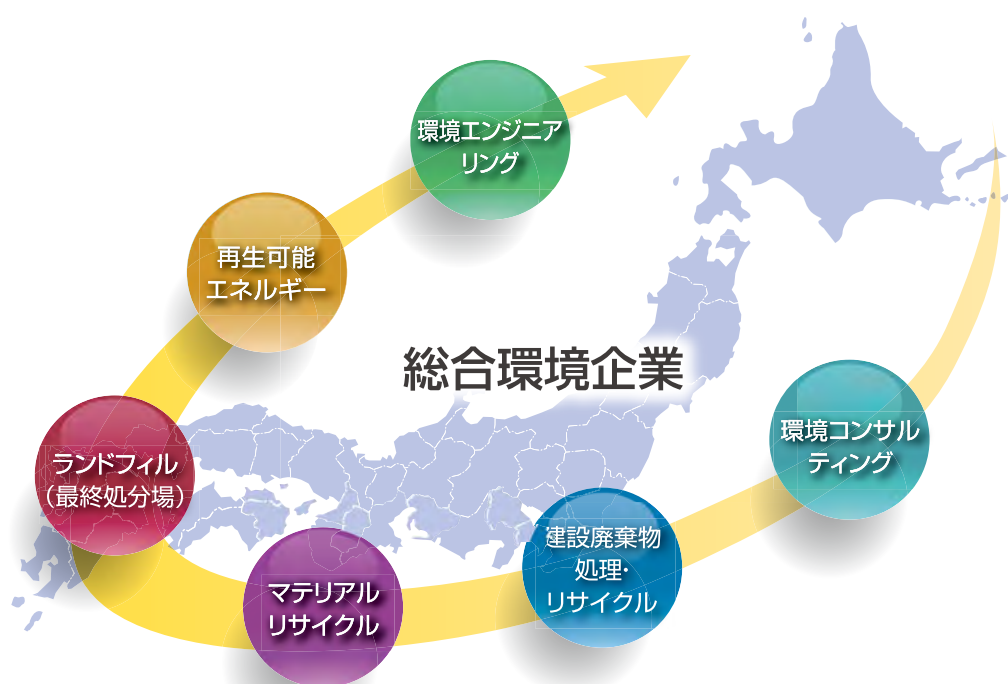
あわせて、タケエイグループの10年後を見据えた一大事業として、廃棄物リサイクルの究

極のモデルである再生可能エネルギー事業を次の新たな柱と位置付け、計画・投資を進めます。発電に必要なバイオマス燃料(森林間伐材等を原料とする木質チップ)の製造・供給から売電まで手がけることで、森林保全・防災力強化、新たな林業関連事業・雇用の創出に努め、将来は、豊かな森づくりへとつなげていきます。同時に、当社の主業である廃棄物処理の強みを活かし、「ごみ発電事業」にも取り組んでいきます。

私たちタケエイグループは、その先の社会環境・事業環境や、持続可能な企業のあるべき姿、地域との共生や自然環境の保護・育成にも視野を拡げながら「総合環境企業」を目指し、歩を進めてまいります。

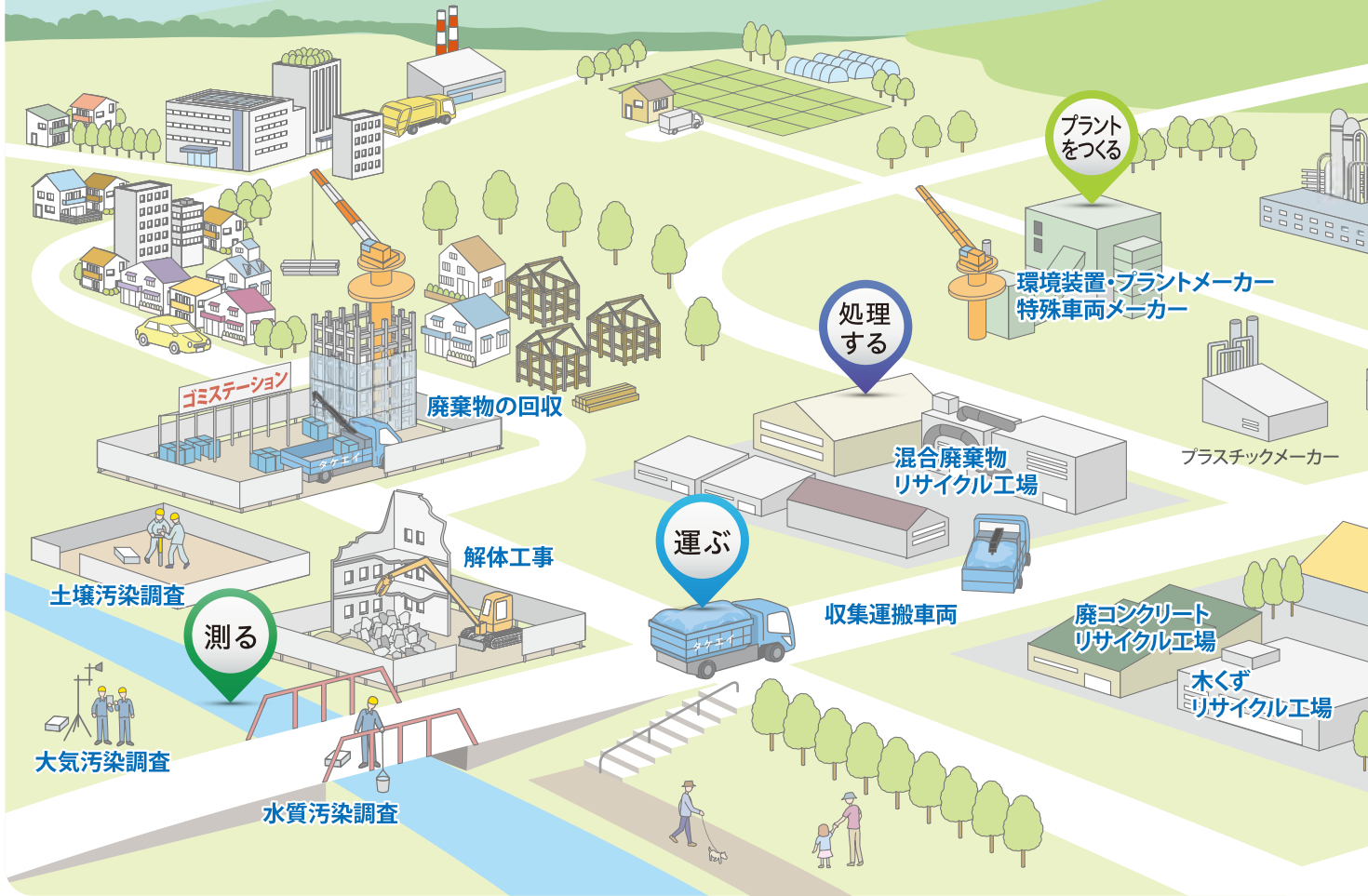
代表取締役会長 **三本 守**
代表取締役社長 **山口 仁司**

タケエイグループにおける今後の事業展開



廃棄物の再資源化を通じて、 社会の持続的発展を支えます

タケエイグループはさまざまな廃棄物を適正に処理することで、資源へと変えています。これらは各メーカー等でリサイクル製品として生まれ変わります。廃棄物処理に関連する事業として、埋立てを終えた最終処分場の跡地利用や再生可能エネルギー事業などにも力を入れており、地域社会や自然環境との調和を図ることで持続可能な社会づくりに貢献しています。



飲料水分析



水道GLP認定



クレーン回収



一般廃棄物の回収車



重機選別



手選別



機械選別

汚染土壌・アスベストといった有害物質の調査・分析・影響評価を行い、その後の対策・措置まで一貫したソリューションを提供します。また、豊富な経験と高度な分析力を活かし、大気や水質等の環境分析・計量証明事業も行っています。

廃棄物を、その種類・形状や排出場所にあわせた車両で収集し、リサイクル工場まで運搬します。また、店舗や家庭から排出される一般廃棄物や粗大ごみも回収しています。

リサイクル工場に運ばれた廃棄物は、重機・人の手・機械で選別と異物除去が行われ、その後リサイクルに適した品質・大きさに整えられます。これらはメーカーにおけるリサイクル製品の原材料や、バイオマス発電や熱利用を行う施設における燃料材として再生利用されます。

※吹き出し〇は主なリサイクル製品の用途を示しています



最終処分 最終処分、最終処分場の跡地利用



安定型品目を埋立処分する(株)タケエイの成田最終処分場
管理型品目を埋立処分する(株)北陸環境サービスの最終処分場
タケエイエコパークゴルフ場
大木戸

中間処理によってリサイクルできないものは、最終処分場で適切に埋立処分されます。また、埋立てを終えた最終処分場の跡地を、パークゴルフ場や太陽光発電施設として有効活用しています。

発電する 再生可能エネルギー



タケエイソーラーパーク成田
(株)津軽バイオマスエナジー

埋立てを終えた最終処分場の跡地を利用し、太陽光発電施設を運営しています。また、間伐材や剪定枝を燃料として活用する木質バイオマス発電事業も行います。

プラントをつくる 環境エンジニアリング



鉄スクラップを圧縮・切断する機械「スクラップシャー」
タンクローリー車

廃棄物を処理する環境プラント・機器や特殊車両(ごみ収集車・タンクローリーなど)の開発、製造、販売・メンテナンスを行っています。

「総合環境企業」を目指し、 地域社会や自然環境と共生する事業を 拡充しています

タケエイグループでは各地の企業と積極的に連携を深め、事業領域と事業地域を拡大しています。これにより、さまざまな廃棄物の処理や環境課題について、お客さまにソリューションサービスをお届けできる体制づくりを進めています。

処理
する

建設廃棄物処理・リサイクル

(株)タケエイ

川崎リサイクルセンター、東京リサイクルセンター、四街道リサイクルセンターの3つの拠点工場において、建設工事や解体工事等から発生する建設混合廃棄物を中心にリサイクルを行っています。建設混合廃棄物は、さまざまな品目が混在かつ複合した状態で排出されることが多く、リサイクルが難しいとされています。(株)タケエイでは、さまざまな機械選別設備や再資源化設備を導入することで徹底したリサイクルを行っています。



川崎リサイクルセンター



東京リサイクルセンター

マテリアルリサイクル

(株)ギプロ (株)池田商店 (株)タケエイメタル (株)信州タケエイ
東北交易(株) (株)グリーンアローズ関東 (株)グリーンアローズ東北

特定の品目に特化したリサイクル工場を充実させることで、再資源化の品質と効率性を高めています。現在、廃石膏ボードを再資源化する(株)ギプロ、(株)グリーンアローズ関東、(株)グリーンアローズ東北、再生骨材・再生砕石を製造する(株)池田商店、(株)信州タケエイ(安曇野リサイクルセンター)、鉄・非鉄スクラップ等のリサイクルを行う(株)タケエイメタル、燃えがらや鉱さい等のリサイクルを行う東北交易(株)の計7拠点を有しています。



(株)ギプロ



(株)信州タケエイ
(安曇野リサイクルセンター)



(株)タケエイメタル

最終
処分

ランドフィル(最終処分場)

(株)タケエイ (株)信州タケエイ (株)北陸環境サービス (株)門前クリーンパーク

現在(株)タケエイおよび(株)信州タケエイで安定型最終処分場を、(株)北陸環境サービスで管理型最終処分場を保有しています。いずれも、法令や条例等の規制を遵守することはもちろん、独自の厳しい基準で徹底した水質管理を行っています。また、(株)信州タケエイ、(株)門前クリーンパークでは、新たな管理型最終処分場の開発を計画中です。地域の皆さまに安心していただける安全な最終処分場の実現を目指して、説明会の開催や情報公開を積極的に実施しています。



(株)北陸環境サービス(管理型最終処分場)

グループ連携のさらなる強化のために

タケエイグループは、より一層のサービス強化とさらなる事業展開を進めていくため、組織再編および社名変更を行いました(右表のとおり)。これを機にグループの連携をさらに強めていくとともに「総合環境企業」としての成長をより確かなものにしていきます。

	変更前	変更後	変更日
吸収合併	(株)リサイクル・ピア	(株)タケエイ(東京リサイクルセンター)	2015年6月1日
社名変更・吸収合併	諏訪重機運輸(株) 橋本建材興業(有)	(株)信州タケエイ (株)信州タケエイ(安曇野リサイクルセンター)	2015年4月1日
社名変更	(株)金山商店	(株)タケエイメタル	2015年4月1日
社名変更	(株)富士リバース	(株)タケエイグリーンリサイクル	2015年6月15日

発電
する

再生可能エネルギー

(株)津軽バイオマスエナジー (株)花巻バイオマスエナジー
花巻バイオチップ(株) (株)タケエイグリーンリサイクル
(株)タケエイエナジー&パーク (株)T・Vエナジーホールディングス
(株)津軽あっぷるパワー (株)花巻銀河パワー

タケエイグループは、再生可能エネルギー事業を新たな事業の柱として位置づけています。太陽光発電事業では、最終処分場の跡地を有効活用しています。またバイオマス発電事業では、間伐材などの未利用材を活用することで、低炭素型エネルギーの創出と地元林業の活性化を目指します。2015年10月に売電開始予定の(株)津軽バイオマスエナジーに加え、(株)花巻バイオマスエナジーも稼働準備を進めています(特集記事をP9～P12に掲載)。



(株)タケエイエナジー&パーク
(最終処分場跡地での太陽光発電)

プラント
をつくる

環境エンジニアリング

富士車輛(株)

富士車輛(株)では、環境装置と特殊車両の開発・製造・販売を行っています。さらなるリサイクルの推進に向けて、同社の有する機械設計のノウハウとタケエイグループで蓄積されたリサイクル技術を融合させ、新たな環境装置の開発を進めます。



スクラップ処理機械
「フジマウントシャー」



破砕から成形までの処理を一体化させた
「フジRPFステーション」

測る

環境コンサルティング

(株)アースアプレイザル 環境保全(株)

廃棄物処理サービスの最上流に位置するのが、コンサルティング・事前調査・環境分析等の事業です。タケエイグループでは、(株)アースアプレイザルや環境保全(株)がこの部門を担当し、社会問題となっている有害廃棄物等の測定・分析や適切な処理の提案・コンサルティングなどを通じ、お客さまのニーズに応えます。



環境保全(株)
(騒音・振動測定)



環境保全(株)(分析風景)

総合環境企業としての 持続可能なエネルギー事業モデル



森は、樹木の根で地盤を支え、雨水を蓄え浄化することで土や水を豊かにし、私たちの生活環境をまもっています。タケエイグループの環境事業もまた「廃棄物を適正に処理し、住みやすい環境を整える」というところからはじまりました。現在、新たな柱として位置づけている木質バイオマス発電事業は、未利用材等を活用した発電により地球にやさしいエネルギーを創出するとともに、健全な森林育成にも貢献します。タケエイグループでは、こうした事業を通して豊かな森をはぐくみ、私たちの生活環境をまもっていきます。

未利用材を活用したバイオマス発電で、 持続可能な森林育成と地域の発展に寄与

地域社会と共生するための 発電事業を目指して

タケエイグループの環境保全(株)は青森県平川市に拠点を置いています。平川市の位置する津軽地方では、豊かな森から間伐等により大量の木材が発生し、その多くが林地に残されたままとなっています。また、日本一の生産量を誇るりんごの栽培過程で大量に発生する剪定枝の処分が、地元りんご農家の方々の負担となっていました。

そこでタケエイグループは、これらの未利用材に着目しました。(株)津軽バイオマスエナジーでは、周辺地域より発生する未利用材を使った木質チップを燃やして「地

産地消型」の木質バイオマス発電を行います。未利用材の活用により、健全な森の育成に貢献しながら、低炭素型エネルギーを創出します。

また、発電事業を立ち上げることで創出される雇用のほかに、間伐材の供給など関連事業に伴う雇用も生まれます。そして地元林業の活性化により森林整備が進めば、自然はより豊かになり、次世代へつな갑니다。タケエイグループは今回の木質バイオマス発電事業を通じ、地域の活性化や森林の循環も見据えた仕組みづくりに取り組んでいきます。



木質チップとなる前の木材の貯木場

バイオマス発電の 新しい事業スキームが始動

今回取り組む木質バイオマス発電では、官民一体となった新しい事業スキームを築いています。まず原材料の供給を地元の林業従事者の方々が行き、その後の木質チップへの加工を農林業や製材業に携わる地元企業が出資する(株)津軽バイオチップで行います。そして、平川市やタケエイグループが出資する(株)津軽バイオマスエナジーにて発電事業を行います。

これにより、雇用の創出、地元林業の推進、森林整備による減災につながり、地域の活性化が期待できます。また、地元の未利用材を使い発電される電力量は、平川市の世帯数を超える約14,000世帯分となります。これはタケエイグループの小売電気事業者である(株)津軽あつぷるパワーを通じて売電され、まさに「エネルギーの地産地消」ともいえるスキームになっています。タケエイグループは、今回の事業スキームを岩手県花巻市でも展開し、地域に根ざした木質バイオマス発電事業に取り組んでいく予定です。

VOICE

官民一体となった地域産業の創出に 取り組んでいます

青森県平川市経済部商工観光課
課長 相馬 昌幸 様

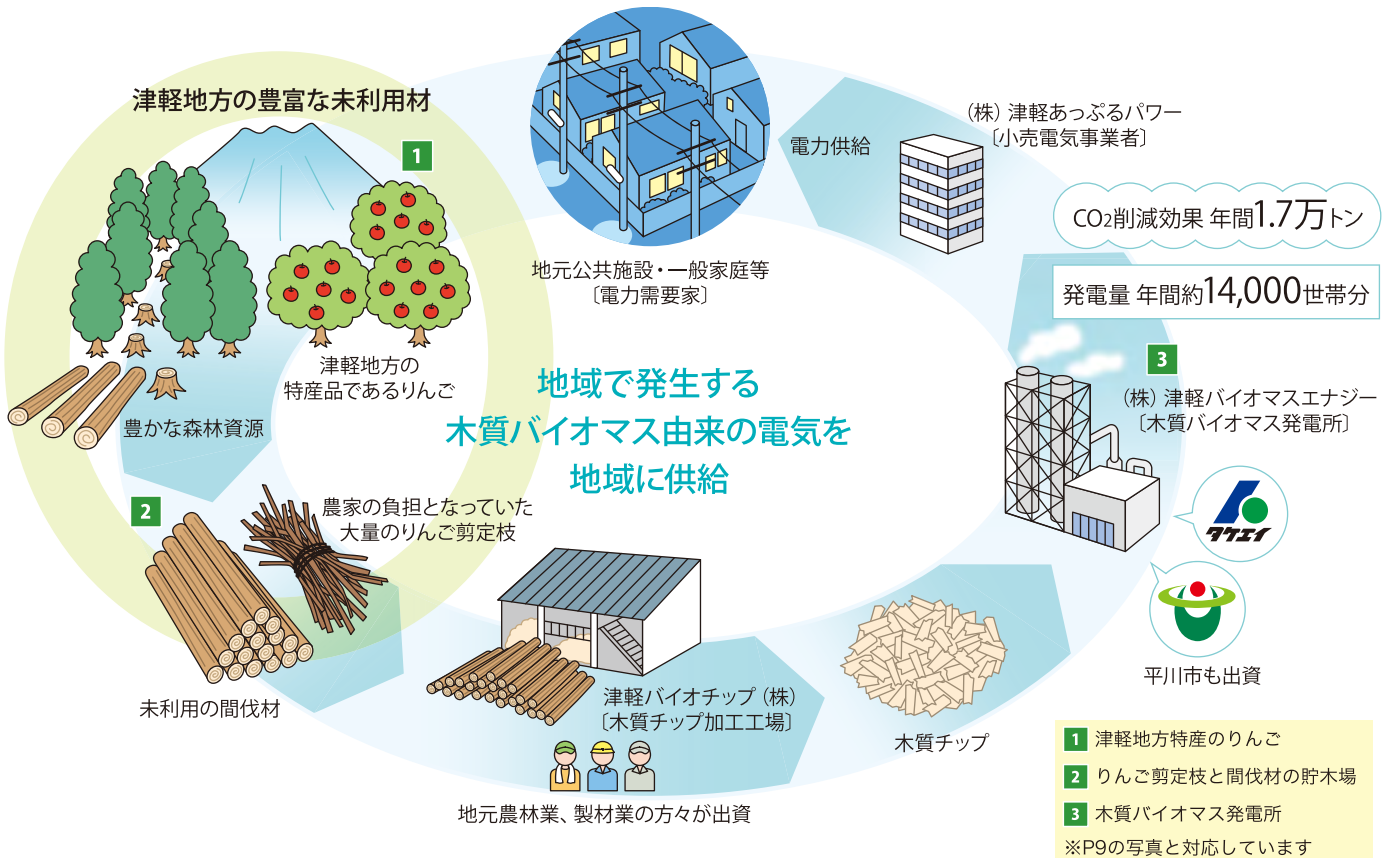


平川市における(株)津軽バイオマスエナジーの木質バイオマス発電事業は、2015年10月の本稼働に向けて順調に進んでいます。

木質バイオマス発電の事業化に向けて、さまざまな手続きや関係する許認可をスムーズに遂行するため、商工観光課が専用窓口となり事業者と一緒に関連部署や国・県等と調整しました。許認可や規制等のクリアに奔走した事業担当者の苦労は私が一番よく分かっているつもりです(私も関係部署との対応に苦慮しました)。

当市では、官民一体となった事業スキームを確立するため、発電事業者に出資し、地元雇用や林業活性化により地域経済を盛り上げたいと考えています。企業誘致が難しい中、県内初の新産業の立地は、当市に活力を与えてくれるものと確信しています。

地域に根ざしたバイオマス発電事業のスキーム エネルギーの「地産地消」



タケエイグループにおける 廃棄物処理事業とエネルギー事業のつながり

タケエイグループは、これまでも廃棄物を活用するエネルギー事業に携わってきました。

(株)タケエイは大規模かつ安定的なバイオマス発電の実現を目指し、2004年に廃棄物処理事業・リサイクル事業を手がける10社とともに新エネルギー供給(株)を設立しました。同社は商社機能を持ち、関東地方を中心に約30社から木質チップ20万t/年、RPF*5.5万t/年を集荷しています。集められた木質チップとRPFは、経済産業省からFIT法(電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法)に基づく認定を受けた発電所である市原グリーン電力(株)にバイオマス発電燃料として供給しています。

また2014年には、最終処分場の跡地を有効活用するため、(株)タケエイエナジー&パークにおいて太陽光発電施設「タケエイソーラーパーク成田」を開業しました。同施設は、現在稼働中の(株)タケエイ 成田最終処分場に隣接する最終処分場跡地に設置されました。経済産業省から再生可能エネルギー発電設備として認定(FIT認定)を受けており、2014年度の発電量は計1,492MWhとなりました。

*RPF: Refuse Paper & Plastic Fuel(古紙&プラスチック燃料)の略称で、主に廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な古紙および廃プラスチックを原料とした高カロリーの固形燃料



市原グリーン電力(株)

エネルギー事業のこれから

2014年10月、(株)富士リバーズ(現・(株)タケエイグリーンリサイクル)が新たにタケエイグループに加わりました。同社は造園業や建設業から排出される廃木材のほか、関東・甲信地方の地方自治体と委託契約を結び、公園や街路樹等から発生する剪定枝を回収し、リサイクルしています(詳細はP12を参照)。

回収した剪定枝や廃木材は木質チップに加工され、敷料として地元の酪農事業に活用されています。その後、牛糞と混ぜ合わせたチップを再び回収し、混合・発酵させることで有機肥料も製造しており、自治体や地元の協力農家で利用されるほか、ホームセンターでも販売しています。

首都圏では、各自治体の環境美化・都市緑化の取り組み強化や都市部再開発により、廃木材の発生量の増加が見込まれています。タケエイグループでは、このような廃棄物由来の木質燃料を活用した「都市型バイオマス発電」も計画しています。



剪定枝等の破碎工程



混合・発酵させた有機肥料

バイオマス発電のノウハウを持つ「ヴェオリアグループ」と提携

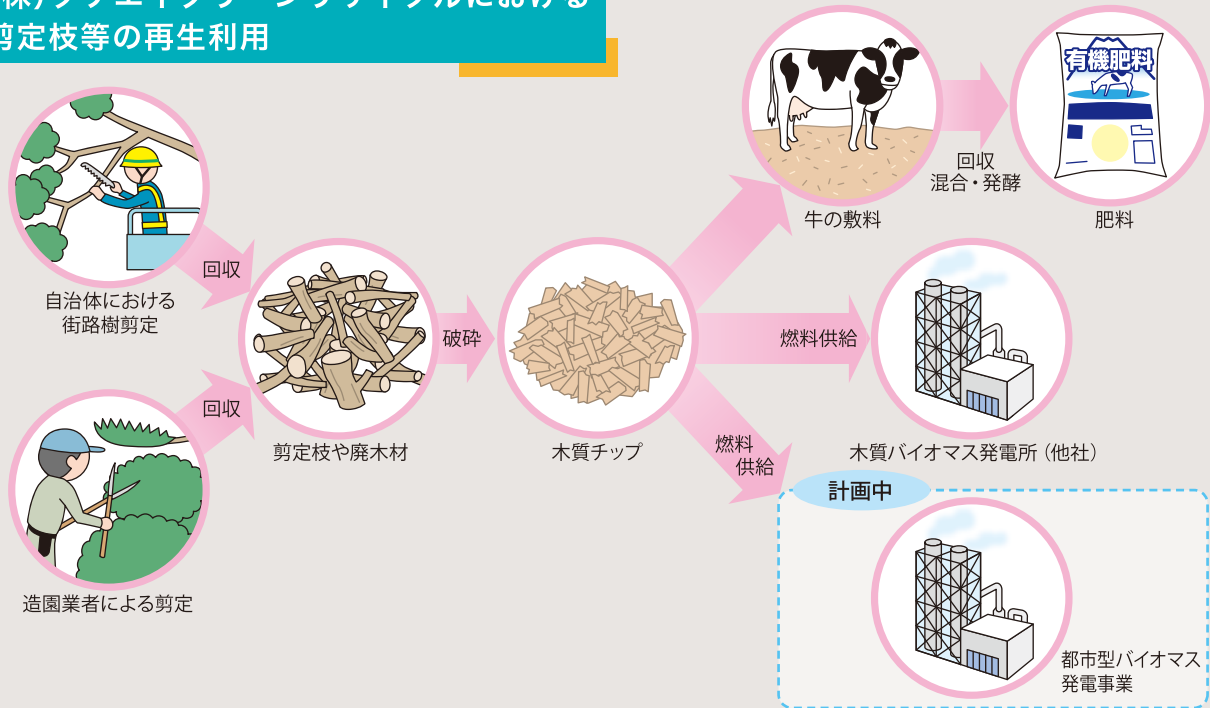
(株)タケエイは再生可能エネルギー事業の基盤を一層強化するため、2014年12月、バイオマス発電で多くの実績を持つ世界的環境企業「ヴェオリア・エンバイロメント」(以下、「ヴェオリアグループ」)の日本法人「ヴェオリア・ジャパン(株)」と資本業務提携契約を締結しました。ヴェ

オリアグループとの提携により、発電所の安定した運転・維持管理に向けた体制も整い、再生可能エネルギー事業のさらなる拡大を目指します。今後は当社の既存事業をベースに、ヴェオリアグループの経営資源を有機的に結合させ、国内外での事業展開に積極的に取り組みます。



(株)タケエイグリーンリサイクルの堆肥化施設

(株)タケエイグリーンリサイクルにおける 剪定枝等の再生利用



事業ハイライト

(株)グリーンアローズ東北 岩沼リサイクルセンターが稼働開始

2015年7月、国内最大級の廃石膏ボード専用リサイクル工場として、(株)グリーンアローズ東北 岩沼リサイクルセンターが事業をスタートさせました。工場に搬入された廃石膏ボードは石膏粉と紙(剥離紙)に分けられ、石膏粉は石膏ボード原料として、紙は製紙原料として、各メーカーに納入されリサイクルされます。また同社は、産業廃棄物の再資源化促進に取り組む事業者として認められ、宮城県より補助金をいただいています。今後は地域に根ざした事業運営を行い、廃石膏ボードのリサイクル推進を通じて、震災復興にも貢献していきます。



岩沼リサイクルセンター

(株)タケエイ 東京リサイクルセンター 第2工場が完成

2015年8月、(株)タケエイ 東京リサイクルセンターに廃タイルカーペット専用のリサイクル工場が完成しました。オフィスなどの床に使用されているタイルカーペットは、素材別に分けることが難しいためリサイクルが進まず、大部分が埋立処分されています。同工場では、タイルカーペットの塩化ビニル樹脂部分と繊維部分を高精度に分離する技術を開発しました。塩化ビニル樹脂部分と繊維部分を分離する技術については、現在特許出願中です。塩化ビニル樹脂の部分はタイルカーペット原料などに、繊維部分は製鉄副資材へとリサイクルすることで、廃タイルカーペットの100%再資源化を目指します。



東京リサイクルセンター第2工場

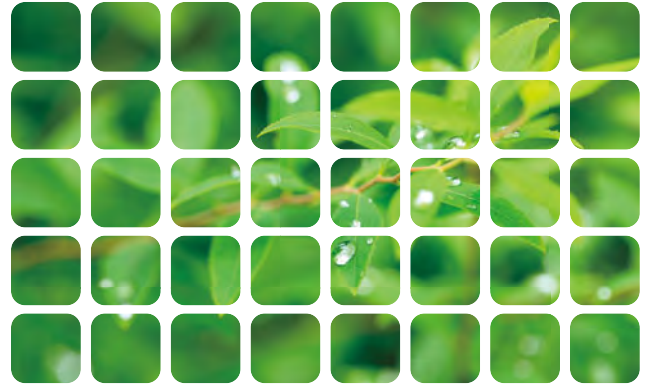


切削ライン

環境とのかかわり 1

環境保全への取り組み

事業活動を通じて環境負荷の低減に取り組み、地球環境との共生を目指しています。



環境負荷低減に向けた活動

収集運搬における取り組み

タケエイグループは、約330台の収集運搬車両を保有しており、各社でCO₂排出量の削減に努めています。例えば、(株)タケエイ、(株)池田商店、(株)信州タケエイ、(株)タケエイメタルではデジタルタコメーターを利用し、エコドライブの状況を点数化することで環境にやさしい運転の指導を徹底しています。



車両にデジタルタコメーターを搭載

オフィスでの取り組み

オフィスでの電気使用量削減に向けて、クールビズの実施、昼休みの消灯、空調の温度管理などを実施しています。また、Web会議システムの導入により社員の移動を減らし、CO₂排出量の削減に努めています。

リサイクル工場での取り組み

タケエイグループではデマンド監視装置により電気使用量を「見える化」し、ピーク抑制や省エネ対策に役立っています。2014年度には新たに4社で装置を導入し、現在8か所のリサイクル工場に設置されています。また車両や重機を導入する際には、環境に配慮したものを選んでいきます。



ハイブリッド型の重機((株)池田商店)

周辺環境への配慮

環境負荷低減に向けて、日常の業務においてもさまざまな対策を講じています。例えば、粉じんの飛散防止のために定期的な清掃・散水を実施したり、化学物質を扱う会社では厳格な管理を行っています。

また法令や地域協定に基づいて、工場での騒音・振動の測定、最終処分場での水質検査等も定期的にも実施し、2014年度も全ての測定値が規制値内でした。

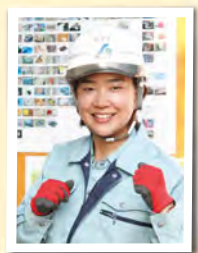
VOICE

分別支援チームの社員より

建設現場で、廃棄物の分別をサポートしています

(株)タケエイ
東京営業部 第4グループ 尾崎 麻未

建設現場に出向き、建設廃棄物の分別活動をサポートしています。分別ヤードの計画づくりや啓発、分別の講習会を行って、現場監督や作業員の方々に廃棄物の分別知識や環境意識を高めてもらえるよう日々努めています。現場の皆さんと、廃棄物のことや環境のことを一緒に考え、現場全体がきれいになっていくことにもやりがいを感じます。「最近はやっと、家でも分けているよ！」「次の現場にも来て分別を教えてほしい」など声をかけていただけるので、どんなときも笑顔で頑張ります。現場での分別により、廃棄物の削減とリサイクルの推進を徹底することで、お客さまの環境負荷低減にも貢献しています。



分別ヤード

「エコ・ファーストの約束」に関する取り組み

エコ・ファースト推進協議会への参加

エコ・ファースト推進協議会は、エコ・ファースト制度の発展を目指しエコ・ファースト企業が連携して設立した協議会で、現在37社で構成されています。タケエイグループも同協議会の一員として、協議会主催の情報交流会やイベントに参加・協力しています。

エコ・ファースト制度とは

環境大臣より「エコ・ファースト企業」に認定された環境先進企業が、自らの環境保全に関する具体的な取り組みを約束する仕組みを「エコ・ファースト制度」といいます。



タケエイグループは、2008年11月に廃棄物処理業界として初めてエコ・ファースト企業の認定を受けました。当グループの取り組み状況および実績データ等は本報告書にて公表しています。(下欄およびP25「環境データ集」参照)

環境メッセージEXPO2014で審査員特別賞を受賞

2014年10月、「エコ・ファースト環境メッセージEXPO2014」が開催され、エコ・ファースト企業が13文字のメッセージで表現した自社の環境活動について発表しました。

タケエイグループは、バイオマス発電のスキーム(P9～P10に関連記事掲載)を「森から創る環(わ)ネルギー」というメッセージとともに紹介しました。CO₂の削減効果に加え、未利用材活用による森林保全や地元の雇用創出などの地域への貢献が高く評価され、審査員特別賞を受賞しました。

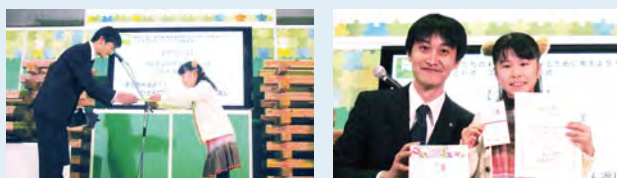


タケエイグループは審査員特別賞を受賞

第5回「『エコとわざ』コンクール」表彰式で「タケエイ賞」を贈呈

タケエイ賞

「すてちゃダメ!!ひと手間かけて、自然へのお返し」



第5回「『エコとわざ』コンクール」表彰式での「タケエイ賞」の贈呈

エコ・ファースト推進協議会では、環境意識の啓発を目的として「エコとわざ」コンクールを開催しています。2014年度は第5回目の開催となり、全国の小中学生から応募された創作ことわざは、過去最高の1,299点となりました。

当社は、浜松市の小学生 鈴木咲貴さんが考えた上記のエコとわざをタケエイ賞(企業賞)として選定しました。2014年12月には同コンクール表彰式が行われ、当社より鈴木さんに賞状と記念品を贈呈しました。

■タケエイグループ「エコ・ファーストの約束」と取り組み内容

	約 束	取 組 み 内 容	評 価	関 連 ペ ー ジ
低炭素社会	①収集運搬効率の向上におけるCO ₂ 削減	・エコドライブ運転の実施、デジコデータを活用したエコドライブ指導 ・動態管理システムによる配車の効率化	😊	P13・25
	②事業活動におけるCO ₂ 削減	・低燃費車両/重機の導入 ・処理設備の改修による効率化、設備稼働時間の短縮	😊	P13・25
	③オフィス内の燃料・電気使用量削減	・クールビズの実施 ・空調の温度管理、昼休みの消灯	😊	P13・25
3R	①豊富な収集運搬メニューによるリサイクル推進	・小口巡回回収システムの整備	😊	P5
	②建設混合廃棄物のリサイクル推進	・各種機械選別設備や再資源化設備の導入によるリサイクル推進	😊	P25
	③連携スキームによる循環的資源利用の促進	・バイオマス発電の連携スキーム ・廃石膏ボードリサイクルの連携スキーム	😊	P9・10
	④廃石膏ボードのリサイクル推進	・(株)ギプロ/(株)グリーンアローズ関東の安定稼働、受入強化	😊	P7・25
	⑤タケエイグループによるリサイクル推進	・単品専門の再資源化工場の充実 (株)ギプロ/(株)池田商店/(株)信州タケエイ/(株)タケエイメタル/東北交易/(株)グリーンアローズ関東	😊	P7・25
環境教育	①分別排出支援	・「分別支援チーム」による分別教育 ・分別デモンストレーションの実施	😊	P13・25
	②環境保全教育	・社外セミナー/社内勉強会への参加 ・資格取得支援制度の実施	😊	P19・20

マテリアルバランスと再資源化 (2014年度実績 ※当時の社名で記載しています)

タケエイグループは、事業活動に伴うエネルギー使用量を把握し、管理しています。また、回収した廃棄物は細かく選別し、適切に処理することで資源へと再生します。



リサイクル工場に回収された混合廃棄物



手選別



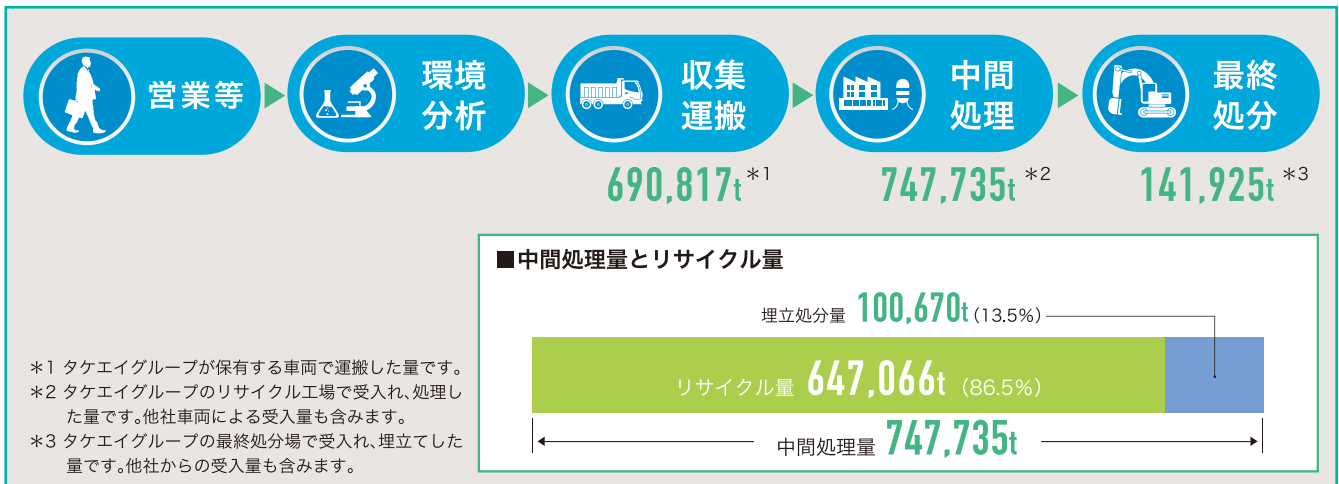
機械選別

タケエイグループのマテリアルバランス

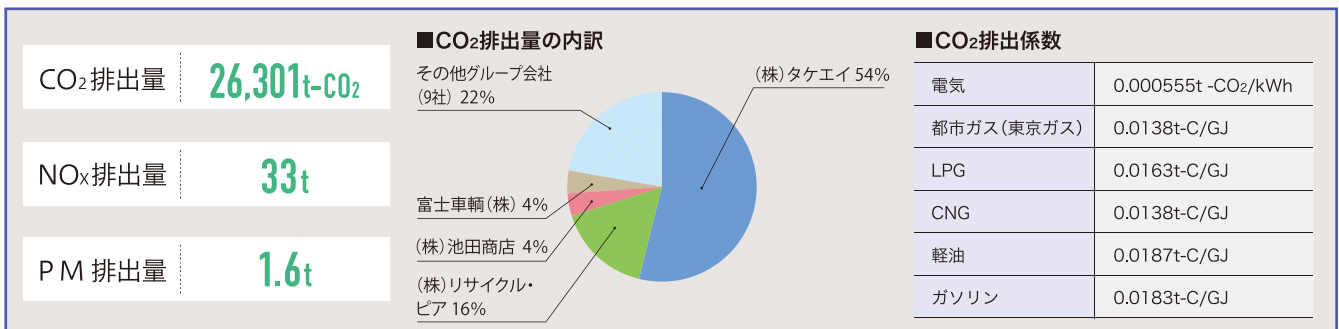
INPUT

電気	20,913MWh	軽油	5,198kl	ガソリン	299kl
都市ガス	78,207m ³	LPG	24,551m ³	灯油	21kl

事業活動



OUTPUT



リサイクル品のゆくえ

土木資材

再生砕石：
RC-40、砂品等



コンクリートは破碎し、廃棄物中の土砂等は精選別で細粒品にし、路盤材や埋め戻し材として建設会社等で利用されます。



生産量 **396,590t**

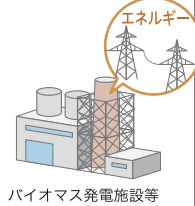
●グループ各社生産比率

(株)タケエイ35.4%、(株)池田商店34.4%、
(株)リサイクル・ピア12.4%、橋本建材興業(有)11.2%、
東北交易(株)4.3%、その他グループ会社2.3%

バイオマス発電燃料、 堆肥原料等



木くずは一定のサイズに破碎され木質チップとなり、バイオマス発電施設等の燃料材として利用されます。また、パルプ原料や堆肥原料としても再生利用されます。



生産量 **62,830t**

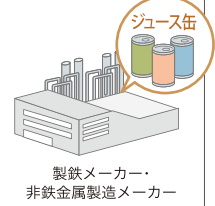
●グループ各社生産比率

(株)タケエイ55.8%、(株)富士リパース29.8%、
その他グループ会社14.4%

鉄・非鉄原料



金属くずは、分解・切断等の処理を行い、種類別に分けます。製鉄・非鉄金属の原料として、製鉄メーカーや非鉄メーカーでリサイクルされます。



生産量 **34,769t**

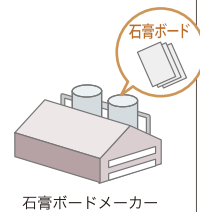
●グループ各社生産比率

(株)タケエイ42.7%、(株)金山商店29.9%、
その他グループ会社27.4%

石膏ボード原料、 セメント系固化剤原料



廃石膏ボードは特殊な破碎と選別で石膏粉と紙に分けます。石膏粉は製品原料として再生利用され、石膏ボードやセメント系固化剤原料に生まれ変わります。



生産量 **57,435t**

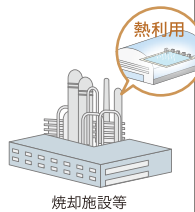
●グループ各社生産比率

(株)ギプロ88.8%、(株)グリーンアローズ関東10.8%、
(株)タケエイ・その他グループ会社0.4%

廃棄物発電・ サーマルリサイクル燃料



混合廃棄物はさまざまな選別機やふるいを通し、比重が軽いものを可燃物として圧縮処理します。廃棄物発電施設や熱回収等を行う焼却施設で燃料材として利用されます。



生産量 **41,242t**

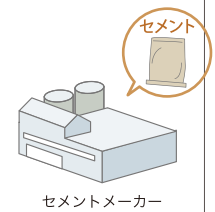
●グループ各社生産比率

(株)タケエイ63.2%、
(株)リサイクル・ピア35.7%、その他グループ会社1.1%

セメント燃料・ 原料



廃プラスチック類や可燃物の中で品質基準を満たしたものは、破碎・圧縮等の処理を行います。セメントメーカーで燃料材として利用されます。



生産量 **26,490t**

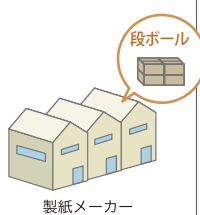
●グループ各社生産比率

(株)タケエイ66.6%、(株)リサイクル・ピア30.7%、
(株)北陸環境サービス2.5%、諏訪重機運輸(株)0.2%

製紙原料



ダンボールや、廃石膏ボードから分離させた紙等は、異物を取り除き圧縮処理します。製紙原料として、再生利用されます。



生産量 **9,562t**

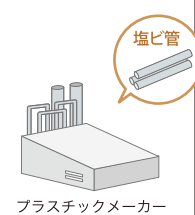
●グループ各社生産比率

(株)ギプロ47.6%、(株)タケエイ27.5%、
諏訪重機運輸(株)12.5%、
その他グループ会社12.4%

再生プラスチック 原料



ポリプロピレン、ポリ塩化ビニルなど特定の廃プラスチック類は、破碎・圧縮・減容固化等の処理を行い、製品原料としてプラスチックメーカーで再生利用されます。



生産量 **6,345t**

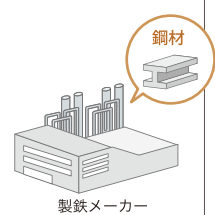
●グループ各社生産比率

(株)タケエイ72.4%、その他グループ会社27.6%

製鉄副資材 (エコ・フォーム*)



廃棄物処理を行う工程で発生する粉じん(ダスト)は、他の廃棄物と混合して成型します。製鉄用の添加剤(フォーミング抑制剤)として利用されます。



生産量 **6,361t**

●グループ各社生産比率

(株)リサイクル・ピア100%
*製鉄メーカーと共同開発し、2009年に特許取得

環境マネジメント

タケエイグループは、環境推進体制の整備や環境マネジメントシステムの構築により、事業活動全体を通して環境活動を推進しています。



タケエイグループ環境基本方針

タケエイグループでは、経営理念およびタケエイグループ企業行動規範に基づき「環境基本方針」を制定しています。環境基本方針では4つの重点課題(活動テーマ)を定めており、グループ各社はこの方針に沿って環境活動を推進しています。

環境基本方針

タケエイグループは、環境に携わる企業として、企業と社会がともに持続的成長が可能な未来を実現すべく、次の4つを活動テーマに掲げ積極的に取り組みます。

1. 資源循環型社会の実現に貢献します。

タケエイグループが保有する技術をさらに向上させ、またグループ間で相互補完しながら、環境に配慮した製品・サービスの提供に努めることで、事業活動を通じて資源循環型社会の実現に貢献します。

- ①再資源化の推進(質・量・品目の向上)
- ②廃棄物の分析・適正処理の推進
- ③環境に配慮した技術・製品の導入
- ④埋立量の削減
- ⑤グリーン購入の推進

2. 低炭素社会の実現に貢献します。

事業活動における省エネルギーの徹底に加えて、自然資源・バイオマス資源等を利用した再生可能エネルギーを創出することで、温室効果ガスの排出を抑え、自然と人間が共存する低炭素社会の実現を目指します。

- ①二酸化炭素排出の低減
- ②再生可能エネルギーの創出
- ③環境に配慮した技術・製品の導入

3. 地域や社会に根ざした環境活動を推進します。

「良き企業市民」として地域や社会に貢献するため、事業活動における環境汚染の予防への取り組みはもとより、自然環境の保護保全活動にも積極的に取り組みます。

- ①社会・環境貢献活動
- ②生物多様性の保全活動
- ③東北等への復興支援の継続的活動
- ④地域住民に配慮した事業活動
(大気・水・土壌への負荷低減、コミュニケーション促進)

4. 環境活動の推進体制を充実します。

環境法規制等の遵守はもとより、地域の環境課題を踏まえた自主的な改善計画を策定し、従業員自らが環境問題を考えながら継続的な取り組みができる体制をつくります。

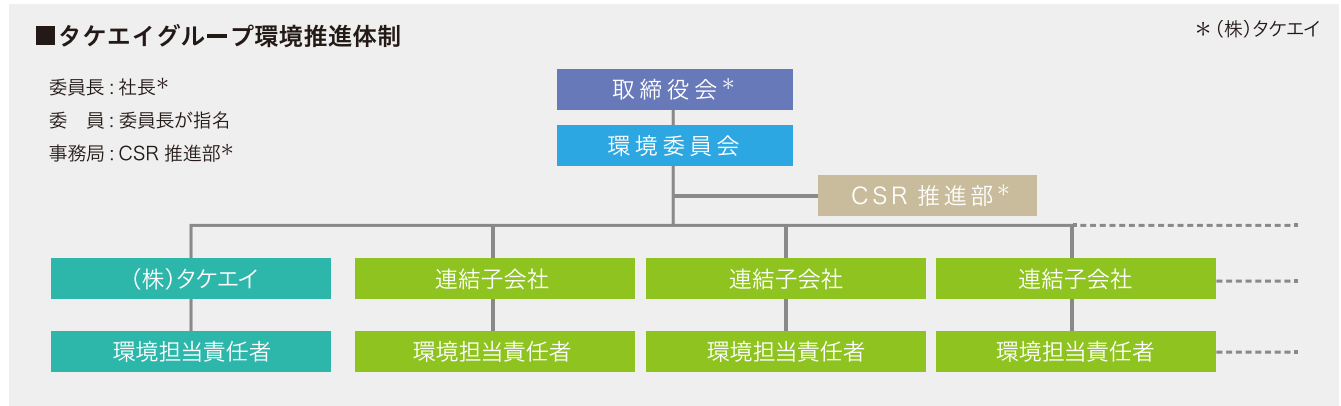
- ①環境法規制等の遵守
- ②環境教育の推進
- ③環境パフォーマンスデータの管理、報告体制の強化

2015年4月1日

タケエイグループ環境推進体制

タケエイグループでは、環境活動を推進するため、環境推進体制を整備しています。グループ全体における環境活動全般の報告や協議を行う場として「環境委員会」を設

けており、さらに社員への周知徹底および環境活動の推進を行う「環境担当責任者」をグループ各社に設置しています。



マネジメントシステムの運用状況

タケエイグループでは、ISO14001またはエコアクション21の認証を取得しており、PDCAサイクルを回すことで、事業活動全体を通して環境改善活動を推進しています(右表のとおり)。

(株)タケエイでは、ISO14001における2014年度の外部審査で不適合はありませんでしたが、改善事項として6点の指導をいただきました。また、内部監査においてもいくつかの指摘事項が挙げられました。これらの指導・指摘事項については、継続して改善を進めています。

■環境認証の取得状況

環境認証の種類	取得組織	取得(登録)年月
ISO14001	(株)タケエイ*1	2001年2月
	(株)北陸環境サービス	2004年7月
	(株)信州タケエイ*2	2001年12月
	富士車輛(株)*3	2001年3月
	(株)タケエイグリーンリサイクル*4	2007年6月
エコアクション21	(株)タケエイ 東京リサイクルセンター	2007年9月
	(株)池田商店	2007年8月

*1 【営業】東京/神奈川/千葉/住宅、【収集運搬】物流管理/塩浜リサイクルセンター、【中間処理】川崎リサイクルセンター/四街道リサイクルセンター、【最終処分】成田/大木戸、【本社】管理部門

*2 本社、環境事業、解体事業

*3 本社

*4 本社、富士ヶ嶺工場

法令遵守

(株)タケエイでは、環境マネジメントシステムに基づく法令遵守の取り組みの一つとして、廃棄物処理法をはじめとした関係する環境法規制等の特定を行い、定期的に遵守状況を確認しています。2014年度も重大な違反はなく、環境に関する罰金、訴訟等も発生していません。

また、リサイクル工場や最終処分場では、立地する自治体や地域住民等と環境保全協定または公害防止協定を締結していますが、こちらについても違反事項はありませんでした。今後も引き続き、環境法規制等の遵守を徹底していきます。



社員とのかかわり

働きがいのある 職場づくり

タケエイグループは、社員一人ひとりが
意欲的に働ける職場づくりを目指しています。



社内教育

社員教育・研修制度

(株)タケエイでは、社員に対してさまざまな教育・研修を行っています。新入社員研修や管理職研修といった階層別研修をはじめ、廃棄物処理法などのコンプライアンス研修や情報セキュリティ研修といった目的に応じた研修も開催しています。

2014年8月には、生物多様性に関する勉強会を開催しました。千葉県立中央博物館 中村俊彦副館長(当時)をお招きし、生物多様性の概要をはじめ、当社の四街道リサイクルセンターがある千葉県、本社がある港区における取り組み等について学びました。企業がどのように生物多様性の保全に貢献できるか考える良い機会となりました。



生物多様性勉強会

資格取得支援制度

(株)タケエイでは、社員の能力向上、自己啓発の促進を目的として資格取得支援制度を設け、試験費用の補助や奨励金の支給等を行っています。環境社会検定(eco検定)をはじめ、当社の業務全般に有用な資格の取得を幅広く推奨しています。2014年度はこの制度を利用して、延べ32名が資格を取得しました。

安全教育

タケエイグループでは、リスクアセスメントやヒヤリハット、KY活動*をはじめとしたさまざまな安全活動を通して、社員の安全意識の向上を図っています。



「ISO見える化掲示」をミーティングにて周知

*KIKEN YOCHI(危険予知)活動の略。事故や災害を未然に防ぐため、作業における危険を予測し、指摘しあう活動。

VOICE

教育担当者より

若手社員を中心とした 勉強会を実施

(株)タケエイ
人事総務部 人事グループ 内田 知恵



(株)タケエイでは2014年度、若手社員を中心に、各部署の業務概要や現状の取り組みをテーマとした勉強会を実施しました。講師役も若手社員が務めることで、自分の業務を見直すことにもつながり、社員同士の良い交流の場になったとも感じています。この勉強会を通して、部署の垣根を越えた組織づくりにつながることを期待しています。

作業員への安全教育に 力を入れています

(株)タケエイ
塩浜リサイクルセンター 下境 敦郎



(株)タケエイ 塩浜リサイクルセンターでは、労働災害の撲滅を目指し作業員教育の充実に力を入れています。全体朝礼時に行うKY活動のほかにも、毎月開催している作業員会議で改善箇所の洗い出しや塩浜作業手順に関する理解度テストを実施するなど、さまざまな教育を行っています。朝礼時間や安全掲示板などを活用することでコミュニケーションも積極的に図り、日々の業務の中に上手く教育を溶け込ませて、安全意識のさらなる向上に努めています。



作業員の勉強会
(塩浜リサイクルセンター)

安全への取り組み

安全衛生方針

(株)タケエイでは、下記のように安全衛生方針を定め、社員が安心・安全に働ける職場づくりを目指しています。

安全衛生方針

基本理念

私たちは、「安全はすべてにおいて優先する」との理念のもと、人命の尊重を最優先し、共に働く仲間と家族の幸せを守るために、常に安全の確保と健康の増進に努め、快適で健康的な職場の実現を目指します。

行動指針

1. 安全衛生管理体制の充実

職場の実態に相応しい安全衛生管理体制を構築し、各職場において安全衛生方針に則り目標を設定し、具体的な計画を策定し、実行するとともに、定期的に見直しを実施する。

2. 安全衛生水準の継続的向上

全従業員の協力のもと、労働災害の撲滅を目指し、リスクアセスメントを活用するとともに基本的活動(危険予知、ヒヤリハット、5S、改善提案等)を行い、継続的な安全衛生水準の改善・向上を目指す。

3. 法令、規程等の遵守

法令・交通ルール・社内規程などを遵守する。また、業務の遂行にあたっては、決められたルール・手順を守り、不安全行動、不安全状態を徹底的に排除する。

4. 安全・衛生教育の実施

全従業員が安全・衛生の重要性をしっかりと認識し、安全最優先の考えと行動が取れるように計画的、効率的な安全・衛生教育を実施する。

5. 心と体の健康の保持・増進

心身両面の健康増進のための取り組みを推進し、職場で働くすべての人の自主的な健康づくりを積極的に支援する。

2014年3月20日
株式会社タケエイ
代表取締役社長 山口 仁司

OSHMS認証の取得

(株)タケエイ 川崎リサイクルセンターは、2013年に「労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)」の認証を取得しています。リスクアセスメント等の実施を中心にPDCAを回した活動を行うことで、さらなる安全衛生管理体制の向上に努めています。



OSHMS認定証

安全衛生推進体制

タケエイグループでは、労働安全衛生法に基づき、(株)タケエイの各事業所およびグループ各社に安全衛生委員会を設置しています。また、全社的な見地から安全衛生に関わる事項を協議する場として、中央安全衛生委員会を当社本社に設置しています。安全パトロールを定期的に行い、各事業所における好事例の水平展開等も実施するなど、安全衛生意識のさらなる向上に力を入れています。

ウォーキングチャレンジ 富士車輛(株)

富士車輛(株)では、全国労働衛生週間の準備期間(1か月間)を使い「ウォーキングチャレンジ」を実施しています。この取り組みは、同社から支給された万歩計を装着し、日々の歩数を記録するというもので、各人の健康増進を図ることを目的としています。同社主催、同社健康保険組合後援で毎年実施しており、2014年度は73名が参加しました。一番多く歩いた社員に対しては、衛生大会の場で社長より表彰を行いました。日頃運動不足の社員も多い中、自らの健康管理を見直す良い機会となっています。



「ウォーキングチャレンジ」の表彰

防災訓練を実施 (株)池田商店

(株)池田商店では、災害や事故の発生に備え、年2回防災訓練を実施しています。2014年11月においては、自衛消防活動をより充実させ、無線連絡や消火器の噴射訓練も行いました。同社では日頃の声掛けや啓発活動により、ここ数年、工場内での災害・事故等は発生していません。このような訓練を通し、不測の事態の際に誰もが迅速な対応を出来るよう心がけています。



消火器の噴射訓練

社会とのかかわり

地域・社会との共生

事業所を置くそれぞれの地域で、
環境・美化活動、地元の皆さまとの交流、
工場見学など、地域社会との共生に向けた
さまざまな取り組みを行っています。



地域との共生に向けた活動

金沢市平栗地区における里山づくり (株)北陸環境サービス

(株)北陸環境サービスの事業拠点である石川県金沢市平栗地区は、豊かな自然に囲まれています。

同社では、地元の方から市道に面した休耕田をお借りし、ひまわりを植えています。夏になると約3,000本のひまわりが満開になり、平栗地区の夏に彩りを添えています。また、地域の方とともにホタルの住みやすい環境を整えています。3年前から「ひまわりとホタルの出会いプロジェクト」を開始。畑を耕し、ひまわりの種をまき、草とりに汗を流します。地道な活動が奏功し、6月になるとゲンジボタルやヘイケボタルが舞う姿が見られるようになりました。7月には平栗夏祭りを開催し、模擬店による飲食やゲーム大会を通して町会の皆さまと楽しいひとときを過ごしています。

また、平栗地区は、カタクリの群生地としても知られており、毎年春になるとうす紫色のカタクリが一斉に花開きます。同社では白山いぬわし自然楽校に後援するかたちで、子どもたちを対象に、カタクリ写生会を行っています。毎年たくさんの方々に参加していただき、良い環境教育の場となっています。

VOICE

地域の方より

地域にとって、 頼りになる企業です

平栗町会長
宮崎 秀明様



(株)北陸環境サービスさんは、里山づくり活動に精力的に取り組んでおられ、平栗町会として頼もしく思っています。また、日頃の平栗街道の清掃や周囲の環境整備をはじめ、平栗夏祭りを開催していただくなど、永年にわたり平栗地区を大事にさせていただき、感謝しています。特に平栗夏祭りは休耕田を活用して育てた約3,000本のひまわりが満開となる時期に開催されるため、みんな喜んでおります。今後ともよろしくお願ひします。



花火大会でのごみの分別指導と清掃活動 (株)信州タケエイ

(株)信州タケエイでは、毎年地元で開催される諏訪湖祭湖上花火大会や全国新作花火競技大会において、来場者にごみを捨てる際の分別指導を行ったり、花火大会終了後に清掃活動を実施したりしています。両花火大会とも県外から多数の来場者がありますが、地域の方も県外の方も気持ちよく過ごしていただけるよう、会場と周辺の美化に努めています。



ごみの分別指導の様子

「海の森」植樹イベントへの参加

2014年11月、(株)タケエイの社員有志とその家族が、東京都主催の「海の森」植樹イベントに参加しました。「海の森」プロジェクトとは、東京港の中央に位置するごみと建設発生土で埋立てられた島(中央防波堤内側埋立地)を、植樹活動によって美しい森に生まれ変わらせるという東京都の事業です。

当日は気持ちのよい秋晴れの中、ボランティアの方にご指導いただきながら約30本の苗木を植えることができました。



植樹の様子

VOICE

活動に参加した社員より

きれいな花火を気持ち良く 観賞していただくために

株式会社信州タケエイ
環境部配車課 三沢 譲



毎年50万人もの来場者のある全国的に有名な諏訪湖祭湖上花火大会において、会場美化の面で、陰ながらお手伝いしています。2014年は前年に続いてゲリラ豪雨に見舞われましたが、雨にも負けず、来場者の方々にたくさんの励ましの言葉をいただきながら、皆さんが気持ちよく美しい花火を観賞できるよう奮闘いたしました。今後も来場された方々が気持ちよく観賞できるよう、そして良い花火大会だったと来場者、地域住民の皆さんに思ってもらえるようサポートしていきたいと思います。



(株)タケエイの社員とその家族

東日本大震災復興支援の取り組み

災害廃棄物処理を終えた各地区では、復興に向けた取り組みが進んでいます。(株)タケエイが災害廃棄物処理に携わった宮城県亘理郡亘理町でも、本格的な町の復興に向けた取り組みが行われています。

2014年10月、亘理町では津波の被害を受けた町営の温泉施設「わたり温泉 鳥の海」を改修・営業再開することとなりました。その際、施設で利用するテーブルや椅子を、当社より寄贈しました。被災地の1日も早い復興を願いつつ、今後も継続的に支援活動を続けていきます。



宮城県亘理町の温泉施設復興支援に対する同町からの感謝状



「わたり温泉 鳥の海」に寄贈したテーブルと椅子

清掃活動

タケエイグループでは、地域社会に貢献するための取り組みとして、事務所や工場周辺の清掃活動を定期的に行っています。また地元自治体主催の清掃活動にも積極的に参加し、地域環境の美化に取り組んでいます。



港区クリーンキャンペーン((株)タケエイ)



第3回殿町・夜光クリーン大作戦((株)タケエイ)



第14回エコ・ウォーク「クリーン塩尻」大作戦((株)信州タケエイ)



(株)ギプロ



(株)タケエイメタル



(株)池田商店

リサイクル製品の展示 **東北交易(株)**

東北交易(株)では、2015年2月より、地元の福島市産業交流プラザ(コラッセふくしま)でリサイクル製品を展示しています。同社工場では搬入された産業廃棄物を再生砕石やインターロッキングへとリサイクルしており、多数の来場者にこれらを実際にご覧いただくことで、同社のリサイクルの取り組みや製品・技術を知ってもらう場となっています。また、福島市ホームページの「ものづくりふくしまウェブ」には、同社の企業インタビューも紹介されています。



東北交易(株)の展示コーナー



展示している再生砕石

工場見学

タケエイグループにおける廃棄物の適正処理、周辺環境への配慮などの取り組みを多くの方に知っていただくため、お客さまや地域住民などステークホルダーに向けたリサイクル工場や最終処分場の見学会を実施しています。日本における廃棄物処理の情報交換・技術交流を目的とした海外からの見学者の受入れも、年々増加しています。



海外からの見学者

経営体制

健全かつ透明な経営を確保して
企業価値を継続的に高めていくことで、
社会から信頼される企業グループとなれるよう
経営体制の整備・充実を図っています。



コーポレート・ガバナンス

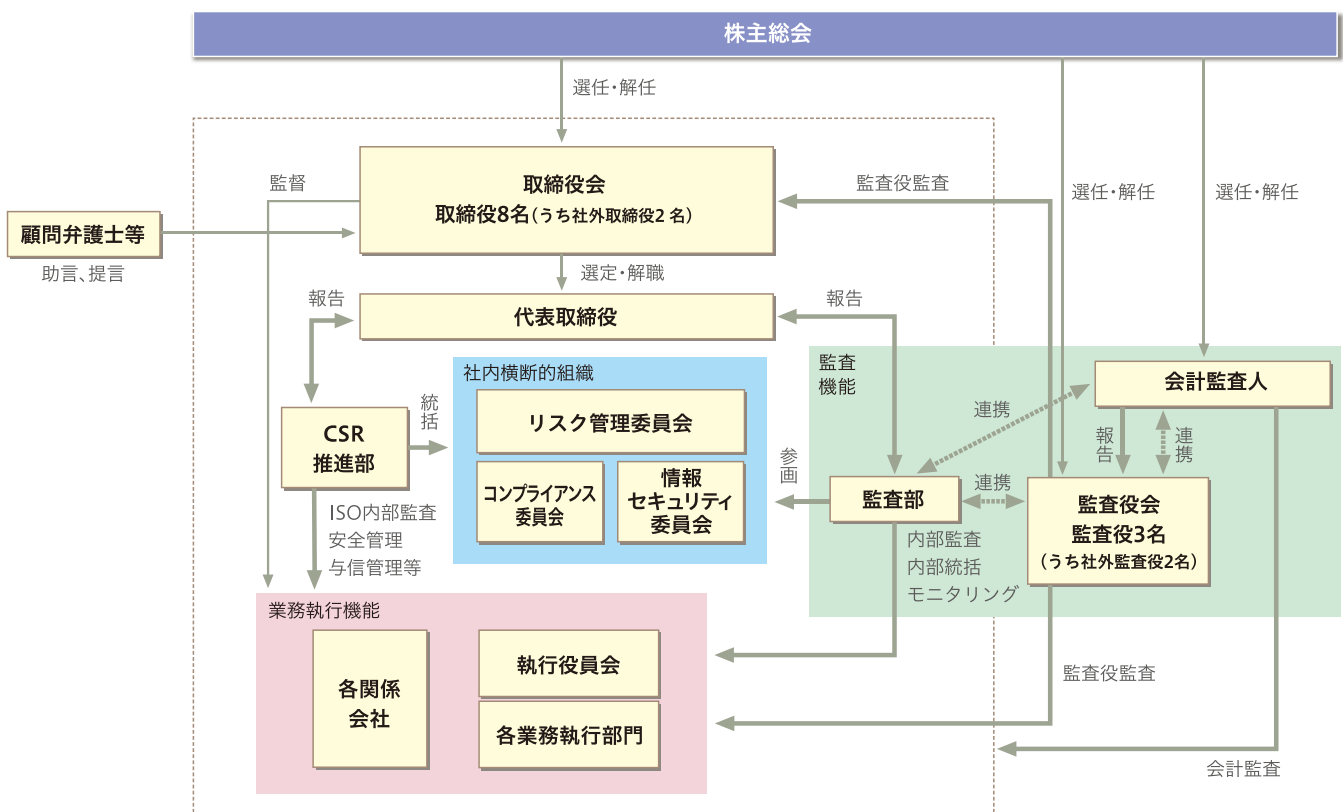
基本的な考え方

タケエイグループで手がける事業は、株主、社員、取引先、さらには当社グループの事業所周辺の地域住民の方々など、ステークホルダーとの信頼関係のもとに成立するものととらえています。従って当社グループでは、健全な経営の推進と社会的信頼に十分に答えるために、コーポレート・ガバナンスの着実な実践を重要な経営課題として位置づけています。

コーポレート・ガバナンス体制

当社の取締役会は、社外取締役2名を含む8名の取締役で構成されており、経営方針その他の経営に関する重要事項を審議・決定するとともに、取締役の職務の執行を監督しています。また当社は監査役会設置会社であり、監査役3名のうち社外監査役は2名です。監査役3名も取締役会に出席して、取締役の職務の執行状況について法令・定款等に違反していないことのチェックを行うとともに、必要に応じて意見を述べています。常勤監査役は取締役会以外の重要な会議にも出席し、取締役等への意見聴取や資料の閲覧、主要な事業所への往査等を通じて取締役の業務執行の適法性・妥当性を監査しています。

■コーポレート・ガバナンスの体制 (2015年7月末現在)



環境データ集

「エコ・ファーストの約束」に対する実績報告

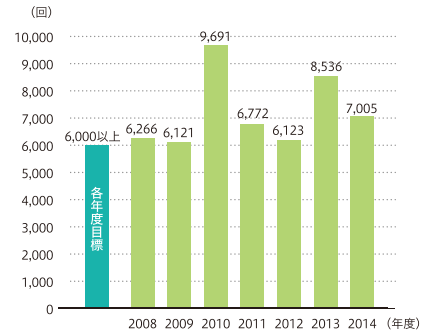


タケエグループが「エコ・ファーストの約束」として掲げている3つの取り組み(低炭素社会・3R・環境教育)について、2014年度の進捗状況をご報告します。2016年には約束の更新時期を迎えますが、引き続き約束の実現に向けて環境活動を推進していきます。

※エコ・ファーストについては、P14にも記載しています。

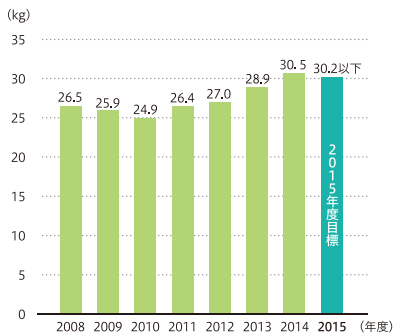
3 「環境教育」について

■ 分別支援活動における現場訪問回数



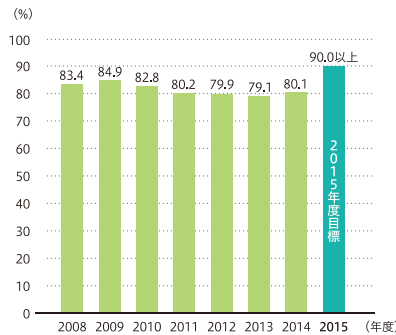
1 「低炭素社会」について

■ 車両による回収現場1件あたりのCO₂排出量

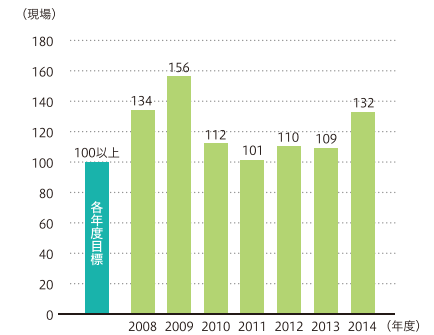


2 「3R」について

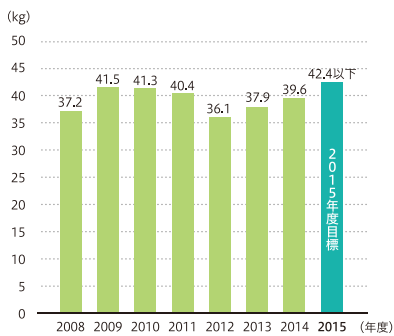
■ 建設混合廃棄物のリサイクル率



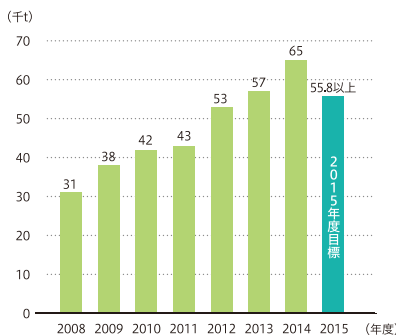
■ 分別支援活動における新規支援現場数



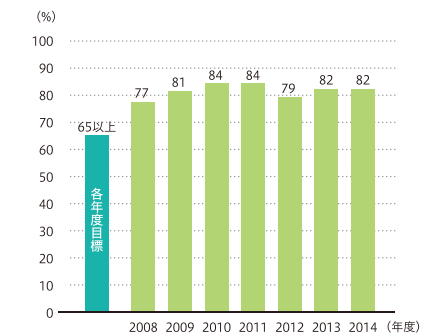
■ 産業廃棄物の搬出量1tあたりのCO₂排出量



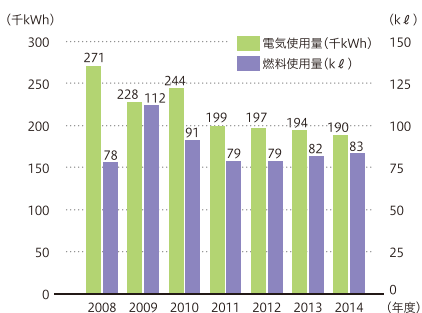
■ 廃石膏ボードの受入量の推移



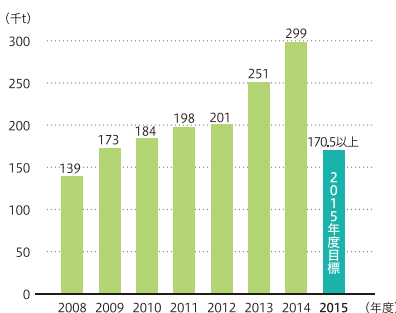
■ 分別支援活動を実施した現場における平均分別率(年度毎)



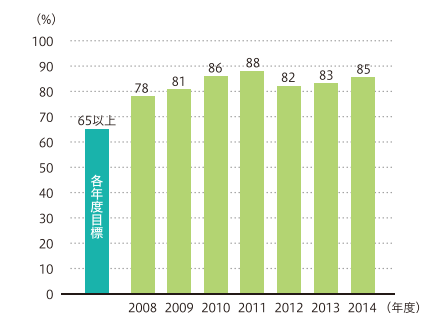
■ オフィス(本社および千葉営業部)における電気使用量・燃料使用量※レンタカー含む



■ 単品専門再資源化工場での搬出(再資源化)量



■ 分別支援活動を実施した現場における平均分別率(累計)



2014年度 環境目標と達成状況

タケエイグループでは、ISO14001またはエコアクション21に基づき環境目標を策定しています。CO₂排出量の削減をはじめ、事業活動に即した環境目標を設定し数値の把握・管理等を行うことで、環境パフォーマンスの改善に努めています。

■2014年度 環境目標およびその達成状況 ※当時の社名で記載しています。

😊 目標達成 😞 目標にあと一步届かず 😐 目標に届かず

項目	社名	目標設定内容	年度目標	達成状況	通期
リサイクル率の向上/ 最終処分量の低減	(株)タケエイ	混合廃棄物の削減 (塩浜リサイクルセンター)	64.03%以上	66.21%	😊
	(株)リサイクル・ピア	リサイクル率の向上	77%以上	78.2%	😊
	(株)池田商店	産業廃棄物のリサイクル量	140,000t/年以上	138,554t/年	😞
	(株)北陸環境サービス	中間処理(破碎)対象廃棄物の 最終処分比率削減	24%以下 <2012年度目標27%>	15.5%	😊
	諏訪重機運輸(株)	リサイクル率の向上	94.4%以上	90.1%	😞
CO ₂ 排出量の 削減	(株)タケエイ	CO ₂ 排出原単位の低減	2008年度比13%削減	3.5%削減	😐
	(株)リサイクル・ピア	CO ₂ 排出量の削減	4,466,169kg-CO ₂ 以下	4,117,221kg-CO ₂	😊
	(株)池田商店	CO ₂ 排出量の削減	981,906kg-CO ₂ 以下	995,240kg-CO ₂	😞
	(株)北陸環境サービス	CO ₂ 排出原単位の低減 (中間処理・最終処分)	2012年度比16%削減 <2013年度実績削減率15.1%>	10.2%削減	😐
	諏訪重機運輸(株)	売上高(電気使用量あたり)の向上	環境効率:37,072円/kWh以上	34,757円/kWh	😞
		燃費の向上(収集運搬車両)	平均4.52km/ℓ以上	4.06km/ℓ	😐
		軽油使用原単位の低減(重機)	2.58ℓ/t以下	2.34ℓ/t	😊
富士車輛(株)	電力消費量の削減	2006年～2008年比10%以上削減	27%削減	😊	
その他	(株)タケエイ	水質検査の適合(最終処分場)	適合	水質検査全て適合	😊
	(株)タケエイ	低公害車の購入	最新環境規制車両・重機購入台数70%	100%	😊
	(株)リサイクル・ピア	水道使用量の削減(設備)	7,382m ³ 以下	8,444m ³	😐
	(株)北陸環境サービス	環境に配慮した走行	デジタコ点数:平均95点以上	95点	😊
	諏訪重機運輸(株)	地域貢献活動の強化	・地区清掃活動への参加、 月1回の一斉清掃の実施 ・工場見学会や子供を対象にした リサイクル勉強会の開催	おおむね達成	😞
	富士車輛(株)	環境配慮型製品の登録・販売	登録:15件 受注:700百万円	登録:28件 受注:700百万円	😊
	(株)富士リバース	木くずのリサイクル、 肥料として商品化	乾燥堆肥35,000t 有機肥料25,000t バイオマス燃料10,000t	乾燥堆肥23,180t 有機肥料22,832t バイオマス燃料7,537t	😐

タケエイグループの情報は、下記の媒体でも公開しています

(株)タケエイ ホームページ
<http://www.takeei.co.jp>

Webサイトでは、会社概要、タケエイグループの取り組み、サービス・業務案内、IR・投資家情報等のさまざまな情報を掲載しています。

処理業者検索システム「さんぱいくん」
<http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index.php>

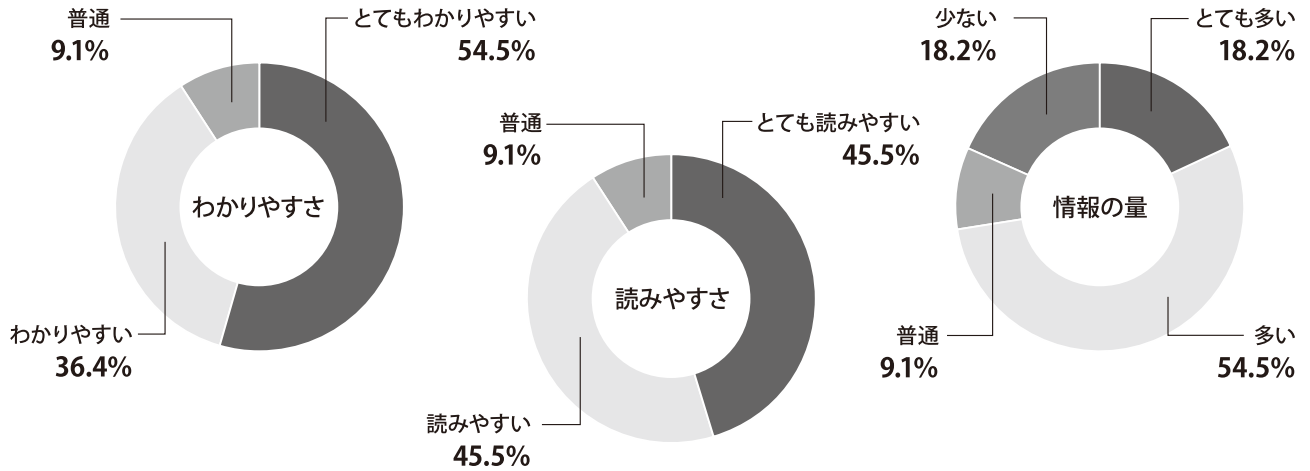
許可情報や処理実績等の情報に加え、優良認定の状況もご確認いただけます。



「タケエイグループ 環境報告書2014」のアンケート結果

2014年発行の「タケエイグループ環境報告書 2014」について、アンケートにご回答いただいた方々に厚くお礼申し上げます。いただいたご意見等について、抜粋してご紹介させていただきます。

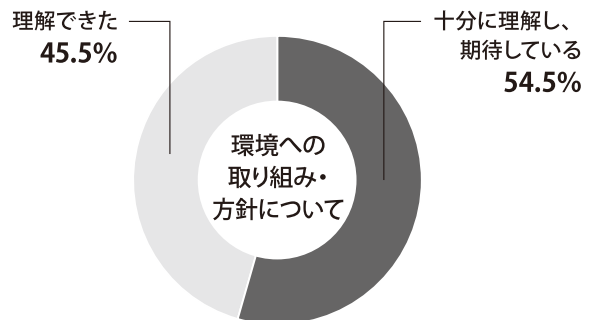
環境報告書2014への評価



特に関心を持った記事 (TOP 3)

1位	リサイクル品のゆくえ
2位	トップメッセージ 事業活動を通して環境に貢献するために
3位	タケエイグループの事業 1 タケエイグループは、持続可能な社会を支えています
	環境負荷低減の取り組み
	災害復旧・復興、防災への取り組み

タケエイグループの環境への取り組み・方針



ご意見・ご感想 (抜粋)

- 図や写真が多用されていてわかりやすかった。
※ただし「写真が全体的に小さめだった」とのご意見もありました。

➡ 2015年度版での改善点
2014年度よりも写真を大きく掲載しました。
- 再生可能エネルギーは社会的にも注目されているので、エネルギー事業の特集などを載せてほしい。

➡ 地域に根ざした木質バイオマス発電について特集を組みました。
- 環境目標およびその達成状況について、達成未達成の区別がつきにくい。

➡ マークの色を変えることで、達成未達成がひと目で分かるようにしました。



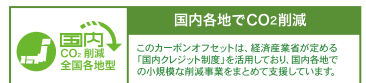
株式会社タケエイ

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目4番1号 A-10階
お問合せ先:CSR推進部 ISO推進グループ
TEL.03-6361-6836 FAX.03-6361-6839

<http://www.takeei.co.jp>



印刷における環境配慮



この報告書は、製造に伴い1部あたり541gのCO₂を排出しました。この排出分は、日本政府が認証した「被災地域における省エネルギー事業」から創出されたクレジットを用い、日本水なし印刷協会およびカーボンフリーコンサルティング(株)を通してオフセット(相殺)しています。



この報告書は、環境に配慮した「グリーンプリンティング認定工場」で、「FSC認証紙®」、VOC削減効果の高い「NON-VOCインキ」「水なし印刷」を使ってつくりました。